



JORNAL NIKKEY SHIMBUN

DIRETOR PRESIDENTE RAUL M. TAKAKI

Rua da Glória, 332 - Liberdade CEP 01510-000 - São Paulo - SP - Brasil

参加のデモに支持の軍政

週末には各地で反隔離デモ

マンデッタ解任後やりたい放題

ボウソナロ大統領は19日、ブラジリアで行われた、軍事クーデターや新たな軍政令第5条(A15)施行を支持したデモに自ら参加し、多くの国民を驚かせた。新型コロナウイルスに対する反隔離政策デモは思わぬ方向に発展し、各界から強い批判の声が高まっている。20日付伯字紙などが報じている。



19日のボウソナロ大統領 (twitter)

最高裁や知事、軍隊も猛反発

16日に新保健相に指名されたネウソン・タイシ氏は、「社会的隔離策を急に変えるようなことはしない」と、国民の64%が反対したマンデッタ前保健相解任への反発を和らげるような発言を行い、大統領もそれに理を解を示すような態度を見せていた。だが、週末のボウソナロ氏の行動はそれとは正反対だった。18日、大統領は官邸前に集まった反隔離を求める集団の前に立ち、商業活動再開などを擁護した。

さらに、国内感染者が3万人台、死者が2千人台に達し、医療崩壊さえ起こりはじめているのに、「(最終的には)国民の70%がコロナに感染するはず」とも発言した。この日は聖市などで、大統領支持者たちによる、州知事たちの行う隔離政策に反対する車両デモ(カレラッタ)が行われた。聖市で行われたのは、コロナ感染者を受け付ける病院の通りを塞いだことでも問題視された。同日発表のダッタフォーリャの世論調査では、国民の79%が「隔離政策に従わない人への罰則を適用すべき」と答えている。

また、19日には全国規模で、軍事クーデターや新たな軍政令第5条(A15)を支持したデモが行われた。この伏線には、マンデッタ保健相解任後、ボウソナロ氏がアルコルンブレ、マイアの上、下院議長と激しく対立したことがあつた。ボウソナロ氏は陸軍本部前に集まったデモの参加者に対し、「政党内士の談合の時代は終わった。これからは国民に主権がある。交渉などこめんだ」と、独裁的な物言いも行った。デモ参加者たちは、「辞める、マリア(A15)」「議会閉鎖」「最高裁閉鎖」などと叫んだ。

反発も起こった。最高裁ではルイス・ロベルト・バロゾ、ジウマール・メンデス、マルコ・アウレリオ・メロ司法官が批判を行った。政界ではルラ元大統領がボウソナロ氏の解任を求めた。カルドソ元大統領や、18年大統領選候補のシロ・ゴメス氏らが批判。マイア氏も民主主義を擁護し、「伯国ではコロナと共に独裁主義的なウイリスがはびこっているように」とし、ボウソナロ氏を批判した。

19日に参加したデモが、多くの国民が忌み嫌う、軍事クーデターや新たなA15施行を訴えるものであったため、これまで以上に強い批判を浴びているボウソナロ大統領だが、その言動が不安定なところは気になるところだ。

19日は参加者の前で演説中、数回咳き込んで話せなくなった上、肘の内側ではなく、手で口を覆うなど、コロナ禍にふさわしくない例をいくつも示してしまっただけで、20日に行われた道陣での取材では「民主主義や自由こそが全ての上に来る」と発言しながらも、同時に「私こそが歩いていく夫婦に参加者が襲いかかったことだ。男はまず女性を後ろから蹴り、それに怒って反応した彼女の顔を殴り倒した。この件はこの日、NS上で大きな話題となり、加害者の男性も身元が割れた。ただでさえ共感されていないデモで、いわれなき暴力が振るわれれば、さらにイメージが下がるのだ。今回のデモでは、全国

保健相 G20 保健相会議に参加 WHOの重要性認めた

【既報関連】ネウソン・タイシ新保健相が19日、G20保健相会議に参加し、新型コロナウイルス感染症の世界的流行に対峙するために世界保健機関(WHO)が果たしている役割とその重要性を認めた。伯国の社会的隔離策への明言を避けた直後だけに、新保健相の発言は注目を集めた。

タイシ氏は会議後の声明で、積極的に検査を行い、実態を明確にする必要があることや、予防接種ワクチンの開発や(特定医薬品の適用も含む)有効な治療法の確立まで、感染拡大抑制のための方策が必要である事を認めた。また、州や地域

の特性や特殊性を尊重する事も明言した。ただ、会議に出席した他国保健相やWHOのテドロス事務局長も、「外出自粛緩和はその国での流行が終息した事を意味しない、新段階に入らなければならない」と曖昧なニュアンスの発言をした。省の方針と大統領の言動が一致せず、国としての方針が明示出来ないという苦言を呈し、軍人関係者から不評を買った。だが、WHOやG20の保健相達を安心させた。

タイシ氏は会議後の声明で、積極的に検査を行い、実態を明確にする必要があることや、予防接種ワクチンの開発や(特定医薬品の適用も含む)有効な治療法の確立まで、感染拡大抑制のための方策が必要である事を認めた。また、州や地域

新型コロナ 感染者4万581、死者2845

【既報関連】新型コロナウイルスの感染拡大は止まらず、20日午後5時の保健省の発表では、国内の感染者が4万581人、死者が2845人となった。また、感染者数、死者数ともに国内最多の聖州では、19日に死者数が1千人を超えたと、20日付伯字紙ニュースサイトが報じた。

感染者の増加ペースに受け入れ態勢(医療キヤパシテイ)が追いつかなくなっている。アマゾン州マナウス市では、本来はコロナ患者者に対応する場所ではない保健所(UBS)にもコロナ重症患者が運ばれている。16日にはセララ州で集中治療室(ICU)ボ語でU.T.I.の空き病床がゼロになった。

2位はリオ州の402人(感染者4765人以下)、3位はペルナンブコ州の216人(2459人)、4位はセララ州の186人(3252人)、5位はアマゾン州の182人(2044人)だ。

聖州は感染者、死者ともに国内最多だが、それでもまだ、結果待ちの検査が7千件ある。州内645市中、感染者が1人以上確認されている市は228、死者が1人以上出ている市は93ある。州保健局によると、19日現在の呼吸器系疾患での入院

患者は5624人で、3279人が人工呼吸器不要の一般病室に入院している。だが、コロナ感染者が半数以下で、過半数は検査の結果待ちだ。

各州で医療収容能力の限界に

伯国各地で臨時病院が建設されている (参考画像: Andrea Rego Barros/PCR)

同州内でも死亡確認されている死者は17日現在で743人だが、それ以外にも1192人が、コロナ感染症が死因だったのではないかと疑われている。聖州では、1557人の医療従事者が、コロナの感染確認、または感染

の疑いで医療現場から離れた。人手不足解消のため、聖州政府は1185人を緊急募集中だ。

聖市には重点的にコロナ患者を受け入れている病院が複数あるが、そのICU占有率は平均で78%。同市西部のエミリオ・リバス病院のICU占有率は既に100%に達し、コロナ患者はおろか、他の重い病気を罹ったり、事故で重傷を負ったりした人も受け入れられない。

感染拡大が続く中、聖州政府は病床確保に努めているが、医療従事者がなくなるか、医療従事者がいつ不足するかは、予断を許さない状況が続いている。

聖州の死者は1千人を超える

聖州は感染者、死者ともに国内最多だが、それでもまだ、結果待ちの検査が7千件ある。州内645市中、感染者が1人以上確認されている市は228、死者が1人以上出ている市は93ある。州保健局によると、19日現在の呼吸器系疾患での入院

患者は5624人で、3279人が人工呼吸器不要の一般病室に入院している。だが、コロナ感染者が半数以下で、過半数は検査の結果待ちだ。

同州内でも死亡確認されている死者は17日現在で743人だが、それ以外にも1192人が、コロナ感染症が死因だったのではないかと疑われている。聖州では、1557人の医療従事者が、コロナの感染確認、または感染

の疑いで医療現場から離れた。人手不足解消のため、聖州政府は1185人を緊急募集中だ。

聖市には重点的にコロナ患者を受け入れている病院が複数あるが、そのICU占有率は平均で78%。同市西部のエミリオ・リバス病院のICU占有率は既に100%に達し、コロナ患者はおろか、他の重い病気を罹ったり、事故で重傷を負ったりした人も受け入れられない。

東西南北

19日は参加者の前で演説中、数回咳き込んで話せなくなった上、肘の内側ではなく、手で口を覆うなど、コロナ禍にふさわしくない例をいくつも示してしまっただけで、20日に行われた道陣での取材では「民主主義や自由こそが全ての上に来る」と発言しながらも、同時に「私こそが歩いていく夫婦に参加者が襲いかかったことだ。男はまず女性を後ろから蹴り、それに怒って反応した彼女の顔を殴り倒した。この件はこの日、NS上で大きな話題となり、加害者の男性も身元が割れた。ただでさえ共感されていないデモで、いわれなき暴力が振るわれれば、さらにイメージが下がるのだ。今回のデモでは、全国

平均月収3千の世帯直撃 GDP予測はマイナス3%に

IPCは13日に発表された経済予測集フォーカスによると、「20年の国内総生産(GDP)成長率はマイナス1.96%、インフレ率2.5%」を前提に、社会階層別の消費パターンを予測した。

平均月収3千の世帯直撃 GDP予測はマイナス3%

IPCは13日に発表された経済予測集フォーカスによると、「20年の国内総生産(GDP)成長率はマイナス1.96%、インフレ率2.5%」を前提に、社会階層別の消費パターンを予測した。

IPCの調査では、購買力低下率2位は、平均月収が2万5554.33リアル(Aクラス)で、購買力は7%落ちる見込みだ。

Mリーザが圧倒的人気

新型コロナウイルス対策に伴う隔離政策開始後に行われた企業の好感度調査で、スーパーのマガジン・リーザが、同政策に積極的に協力した企業への好感度が上がった。20日付エスタード紙サイトが報じている。

出前サービス・アプリのiFood、3位は飲料会社のアンベウ、4位は化粧品メーカーのボチカリオ、5位はネット販売のカーブ・リーヴリだった。

南米神宮

IPCの調査では、購買力低下率2位は、平均月収が2万5554.33リアル(Aクラス)で、購買力は7%落ちる見込みだ。

出前サービス・アプリのiFood、3位は飲料会社のアンベウ、4位は化粧品メーカーのボチカリオ、5位はネット販売のカーブ・リーヴリだった。

緊急時の連絡先
サンパウロ日伯援護協会「本部事務局」
サンタクルス病院
万が一、医療機関等に隔離され、日本政府の援護が必要な場合の在外公館の連絡先リスト



盛り上がるデモ隊と反ドリア派の抗議演説



街宣車で演説を行うデモ隊



街宣車とバイク



街宣車とフロントに国旗を付けたデモカー



集結するデモ隊



反ドリア派のデモ隊のバイク



反ドリア派のデモ隊のバイク

写真 グラフ 外出自粛中に盛大に抗議デモ
反隔離派がP大通りに集結

がいしゅつじしゅくちゅうせいだいこうぎ
はんかくりはおくろすとあお
はんかくりはおくろすとあお

クアレテーナ(検査)中の静かなパウリスタ大通りが突如、歓声とクラクション(警笛)によって埋め尽くされた。

18日(土) 15時、偶然にもパウリスタ大通りを歩いていると、トリアンマスピー駅あたりでやたらと賑やかな歓声があがっていた。近づいてみると、ドリア聖州知事反対派のマラエスタソン

クアレテーナ(検査)中の静かなパウリスタ大通りが突如、歓声とクラクション(警笛)によって埋め尽くされた。

18日(土) 15時、偶然にもパウリスタ大通りを歩いていると、トリアンマスピー駅あたりでやたらと賑やかな歓声があがっていた。近づいてみると、ドリア聖州知事反対派のマラエスタソン

クアレテーナ(検査)中の静かなパウリスタ大通りが突如、歓声とクラクション(警笛)によって埋め尽くされた。

18日(土) 15時、偶然にもパウリスタ大通りを歩いていると、トリアンマスピー駅あたりでやたらと賑やかな歓声があがっていた。近づいてみると、ドリア聖州知事反対派のマラエスタソン

4月末から5月にかけて聖州は感染拡大のピークを迎えると言われる。死者が日々増えていく中で、この外出自粛令解除を求める動きが、今後どうなっていくのか、すばんでいくのか、それとも週毎に増えていくのか、目が話せない動きのようだ。

「新型コロナウイルスの感染予防で外出自粛が発令されている最中、野外とはいえ一番人だかりがあったのはここだろう。」

4月末から5月にかけて聖州は感染拡大のピークを迎えると言われる。死者が日々増えていく中で、この外出自粛令解除を求める動きが、今後どうなっていくのか、すばんでいくのか、それとも週毎に増えていくのか、目が話せない動きのようだ。



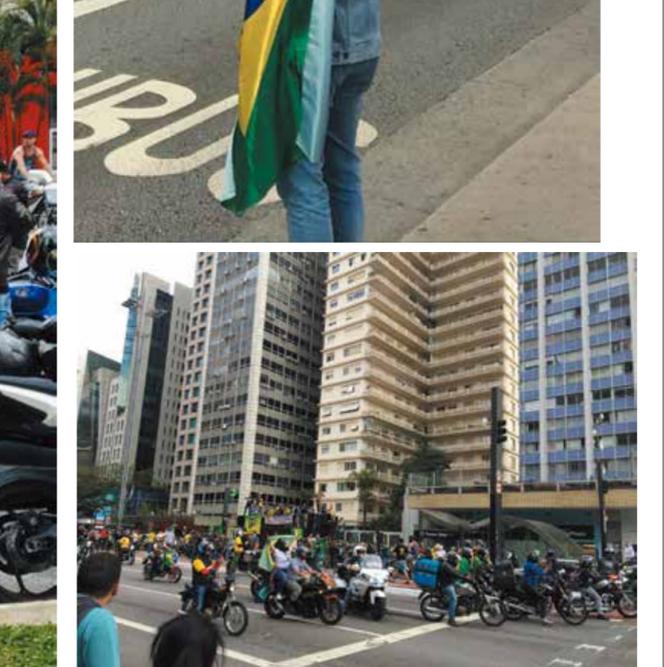
集結するデモ隊のバイク



「ボルソナーロには理由がある！私達は働きたい！」と抗議する人達



国旗を担ぐ者



集結するデモ隊

MARUITI
TONKATSU YAKISSOBA
www.maruiti.com.br

VENDA em BANCA

TEMPLO XINTOISTA DO BRASIL
南米神宮
開運 沼矛八方棧
Rua Estado de Israel, 76 - Vila Clementino SP
Tel: (11) 5575-4783 - www.templouxintoista.org.br

ANO XXIII - Nº 5472

SÃO PAULO, TERÇA-FEIRA, 21 DE ABRIL DE 2020

R\$ 5,00

樹海 拡大版

日本の厚生労働省が「新型コロナウイルス」に関するQ&A (https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou4/02.html)とウェブページがあるので、のぞいてみた。

《通常の季節性インフルエンザでは、感染者数と死亡者数とのくらゐで「直接的及び間接的にインフルエンザの流行によって生じた死亡を推計する超過死亡概念」というものがあり、この推計によりインフルエンザによる年間死亡者数は、世界で約2550万人、日本で約1万人と推計されています。》とあった。

つまり、通常でもインフルエンザによる死亡は、世界で50万人、日本で1万人いるのだ。

また、プレジデント・オンライン2月18日付「なんと1日50人以上「インフル死者」が日本で急増する不気味／怖いのは新型コロナだけじゃない」(https://president.jp/articles/-/33053?page=2)によれば、2019年1月には、日本でインフルエンザによって1685人が亡くなっている。1日平均で死者54人だ。

ちなみに17日現在、1日に日本で新型コロナウイルスが原因で亡くなった人は17人。現時点では去年の普通のインフルエンザよりも低い。

とはいえ新型コロナウイルスの死者数が、通常のインフルエンザの年間死者数である世界で2550万人を越えるのは時間の問題だろう。

というか、世界中で都市封鎖やら外出禁止令などを実施して世界経済を大破壊して、万が一にも通常のインフルエンザと大差ない被害がなかったら、その方が大問題だ。「外出禁止」から「それだけの被害で済んだ」となるのだらう。



ミナス州ベロオリゾンテ。医療防護服で葬儀する墓地職員 (Adão de Souza-PBH)

「スウェーデン」異色の緩い対策のフケ (https://toyokeizai.net/articles/34114) は、驚かされた。のつけから「スウェーデンでは今もレストランはカフェが通常営業をしています。小・中学生は学校に通っています」とある。

14日時点でスウェーデンのコロナ感染による死者数は919人というから、日本よりはるかに多い。感染者は1万948人で、重篤者も859人いるという。

1995年にエボラが発生したときにザイールに派遣され、そこで功績を高く評価された疫学専門家のアンジェ・タグネル氏が対策責任者になっているという。

「これは戦争だ！」と元首相が勇ましく発言して国民を奮い立たせ、ウイルスに宣戦布告をしたところがある。その時は2、3カ月の短期決戦のつもりで宣言したが、実は数年がかりの消耗戦を大いに減らす必要に迫られるという。最短でも22年1月まで1回1ヵ月程度の自粛期間を計5回設ける必要が生じる。感染した人が持つウイルスの免疫が、どれだけの期間維持されるかは分かっていない。免疫が1年程度で消えるとすると、新型コロナウイルスは今後何年にもわたり、定期的に感染拡大を繰り返す可能性があるとして、

もちろん数カ月で特効薬が見つかるという可能性もある。だが、一般的にはワクチン開発には数年かかる」と言われている。

このような研究発表をみれば、「新型コロナウイルスとの戦いは長期戦になる」という印象を受ける。

短期決戦ではなく長期戦としての戦い方

ヨーロッパの国々の中には「これは戦争だ！」と元首相が勇ましく発言して国民を奮い立たせ、ウイルスに宣戦布告をしたところがある。その時は2、3カ月の短期決戦のつもりで宣言したが、実は数年がかりの消耗戦を大いに減らす必要に迫られるという。最短でも22年1月まで1回1ヵ月程度の自粛期間を計5回設ける必要が生じる。感染した人が持つウイルスの免疫が、どれだけの期間維持されるかは分かっていない。免疫が1年程度で消えるとすると、新型コロナウイルスは今後何年にもわたり、定期的に感染拡大を繰り返す可能性があるとして、

もちろん数カ月で特効薬が見つかるという可能性もある。だが、一般的にはワクチン開発には数年かかる」と言われている。

ウイルスと戦うのではなく、共生する生き方

「新型コロナウイルス」の電子顕微鏡写真 (Credit: NIAID)

新型コロナウイルスは、通常のインフルエンザと異なる。インフルエンザは、毎年世界で50万人がインフルエンザで死んでいるが、我々は普通に生活しているという。インフルエンザと我々は、すでに共生関係にある。新型コロナウイルスは、通常のインフルエンザと異なる。インフルエンザは、毎年世界で50万人がインフルエンザで死んでいるが、我々は普通に生活しているという。インフルエンザと我々は、すでに共生関係にある。

新型コロナウイルスは、通常のインフルエンザと異なる。インフルエンザは、毎年世界で50万人がインフルエンザで死んでいるが、我々は普通に生活しているという。インフルエンザと我々は、すでに共生関係にある。



予防衛生協会のサイトで紹介されていた「ウィルスの意味論——生命の定義を超えた存在」(山内一也著、みずす書房、2018年)